

1972

LIOJ

OFFERS
SPECIAL
INTENSIVE
COURSES
IN
ENGLISH



WINTER — 9 WEEKS
SPRING — 2 WEEKS

冬期 9 週間と春休み 2 週間 英語特訓課程ご案内

目的および特色

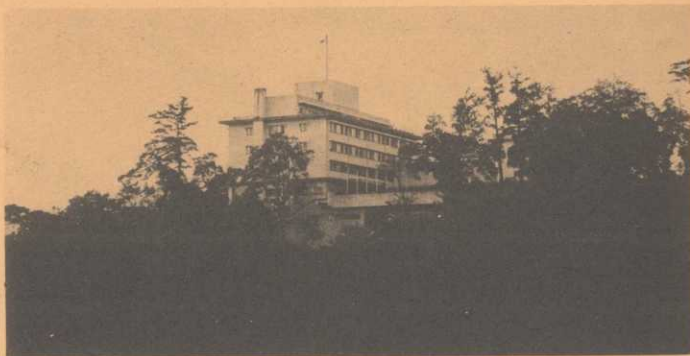
日本で唯一の全寮制によるTOTAL IMMERSION方式で期間中は外国人講師と生活を共にし授業、演習はもちろん食事、スポーツ、レクリエーションなど生活の全部を英語で行ない日本語は一切使いません。日本人特有の英語コンプレックスをとりのぞき、流動する世界に雄飛し、東西文化の融合と相互理解に貢献する国際人をつくることを目的とします。

場所 …………… LIOJ：神奈川県小田原・アジアセンター内

アジアセンターは箱根山を背に相模湾に面した高台の景勝の地にあり、地下2階地上5階の近代的な建物にはLL教室、図書室、大ホールのほか、海外生活と同じ雰囲気 of 宿泊設備、食堂、談話室を備え、冷暖房も完備しています。

参加資格

高校卒業程度の英語力を有するもの



冬期特訓課程 9週間コース

期間……1972年1月10日～3月11日

LECTURE & PRACTICE PROGRAM

下記の各項目を目標として、9週間405時間の授業と100時間以上の自習をフルに活用します。

1. パターンプラクティスを主体とした発音、イントネーションの基礎訓練
2. L.L.その他視聴覚器材による会話の強化練習
3. 英文読解の速度と把握力の促進
4. 英作文の練習
5. パブリックスピーキングの演習
6. 海外時事問題の研究
7. 海外生活に必要なマナーの実習(希望者にはアメリカ料理のクッキングレッスンも行います。)
8. 選択科目として英文タイプ、西洋史、社会学等の特別講習もあります。(春休み特訓課程もほとんど同様の項目です。)

◎自由時間や食事・お茶の時間には小グループで国際間の政治・経済・宗教から海外留学や、人生観に至るまで若い外人講師と話し合う機会があります。

参加費(授業料、器具使用料、宿泊、食費その他一般生活費9週間合計)

————— 180,000円

参加申込金————— 5,000円

定員————— 50名(定員に達し次第締切ります)

上記9週間を次の通り2期に分け2月13日は休日とします。

第一期 ===== 1月10日～2月12日 == 33泊

第二期 ===== 2月14日～3月11日 == 26泊

一期だけの受講申込もお受けいたします。その場合の参加費用は次の通りとなります。(第一期、第二期、共参加申込金は5,000円です)

第一期 ===== 100,000

第二期 ===== 80,000

春休みを効果的に

2週間＝(春期特別課程)＝

期間……………1972年3月12日～3月25日

目的及び特色

毎年、当センターで開催される南カリフォルニア大学とLLOJ共催による英語教育ワークショップの成果を応用し短期間集中教育(授業110時間、自習26時間以上)により生きた英語の習得を目的とします。今回はとくに、Regular Facultyの他に南カリフォルニア大学から4名の英語教育専攻の学生が補助教員として来日します。

〈一日のスケジュール〉

8:00……………朝食
8:30～12:30……………インストラクション5課程
12:30……………昼食
1:30～4:00……………インストラクション3課程
4:10～5:30……………課外活動・自習
6:00……………夕食
7:00～9:00……………LL,その他選択相

(冬期特訓課程・春期特訓課程両用)

◎週末には特別プログラムがあります。

参加費用……………50,000円

(授業料、器具使用料、宿泊食事を含む)

前納金……………10,000円

(入学の際の参加費用に含まれます。)

定員

100名 (定員に達し次第締切ります。)

4月以降の特訓本課程については次項をご参照下さい

LIOJ について

LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

LIOJ特訓課程は、英語というメディアを通じて、世界の平和と繁栄に具体的に貢献する人物をつくることを目的として、昭和43年3月に開講いたしました。

短期間に、かつ集中的な特別教育をするために、受講者にはかなりの負担と思われるかもしれませんが、過去9回におよぶ受講者は、全員これに堪えて、すでにその多数の方々が海外の勤務先で大いに活躍しておられます。

「生きた英語」という建前から、日本語は一切使わず、すべて英語による若い外人講師との共同生活は、日本人特有の外人コンプレックスをとりのぞき、英語力の自然な発達を促す上に非常な効果があったと好評をうけております。

スタッフには第一高等学校(旧制)、青山学院大学等で教鞭をとられ、我国の英語教育には特に経験の深いローランド・ハーカー先生夫妻を中心にアメリカ一流の各大学から15名の男女講師が来日、その他青山学院大学のウイルキンソン教授、同時通訳の西山千氏らも顧問として参加されます。

言語はその国の生活と文化の総合的な表現であり、言葉を知ることは、その国の本当の姿を知ることでもあります。将来、世界に雄飛し、東西文化の融合につくそうと思われる方々が、ふるって参加されることを希望いたします。——財団法人 MRAハウス 代表理事 渋沢雅英



1972年度 4月以降の予定

第 11 回 特訓本課程	13週間	4月10日～7月8日
夏期特訓課程	第 1 期	2週間 7月9日～7月22日
	第 2 期	2週間 7月23日～8月5日
	第 3 期	2週間 8月21日～9月2日
	ワークショップ	2週間 8月6日～8月19日
第 12 回 特訓本課程	13週間	9月25日～12月23日

FACULTY FOR WINTER AND SPRING TERMS, 1972



Mr. Rowland HARKER (Principal)



Mr. Robert G. Boress
Occidental College
(California)



Miss Akemi Mukai
University of Southern
California (California)



Miss Kathleen Courrier
Occidental College
(California)



Mr. Laurence D. Ebner
University of Redlands
(California)



Miss Nancy I. Foote
Ottawa University
(Kansas)



Miss Ann Frentzen
Macalester College
(Minnesota)

Mr. Charles B. Gilbert
Forest Park Community
College (Missouri)



Mr. Brian Stott
University of Victoria
(British Columbia)
CANADA



Miss Mary S. Taylor
Southern Methodist
University (Texas)



Mr. Wallace Frank Tuck
University of Alberta
(Alberta, CANADA)



Miss Elizabeth Lindley
University of Southern
California (California)

Executive Director
MRA Foundation
Advisor and Teacher

Mr. Masahide Shibusawa
Mr. Hugh Wilkinson
(Aoyama Gakuin University)

Advisor Lecturer
General-Secretary
Student Advisor

Mr. Sen Nishiyama
Mr. Tatsuhiko Sugiyama
Mrs. Rowland Harker

● MRAハウス : 東京都港区南麻布4丁目9番17号 〒106 Tel 445-5111

● MRAアジアセンター : 神奈川県小田原市城山4-14-1 〒250 Tel 0465-22-6133